

祝 秋の叙勲受章

瑞宝双光章【警察功労】



平山 操さん
(中)
1965年栃木県警察に入り、主に刑事部門を歩む。
2007年に県警捜査3課で退職されました。

瑞宝単光章【消防功労】



坂主 公司さん
(荒井)
1971年塩谷郡市消防組合に入り、2007年に塩谷広域行政組合消防司令で退職されました。

瑞宝単光章【警察功労】



村嶋 進さん
(中)
1971年栃木県警察に入り、主に刑事部門を歩む。
2010年に那須塩原署刑事課で退職されました。

祝 市政功労者表彰受賞

11月1日(月)、矢板公民館で市政功労者に対する表彰式が行われました。

受賞された皆さんは、長年にわたり、各分野でご活躍された方、篤行に優れた方で、市長からはこれまでの功績に対する感謝の言葉とともに表彰状が手渡されました。



各分野で功労顕著な方			
大類 俊昭	消防	高橋 庸	文化財保護 審議会委員
目崎 元康	統計	皆川 丈夫	
染瀬 辰雄	行政区長		

(順不同・敬称略)

篤行に優れた方				
市村ふみ子	援護厚生 (老人給食)	新 邦之	健全育成 (各種奉仕活動)	
岡本 満		荒井 亮一		
兼崎 章		江連 肇		
金田登智子		大類 正雄		
関本ミネ子		黒木 秀行		
関谷 敏江		高瀬 崇夫		
高橋 絹代		千野根友和		
津久井眞弓		野川 智広		
松平 宣秀		株式会社 格和測量設計		市に対し 寄附された方
見形恵美子		株式会社 TKC		
渡辺 一枝	萩原建設 株式会社			

(順不同・敬称略)

祝 各種表彰受賞

文部科学大臣表彰 (地方教育行政)



伴瀬 良朗さん
東北大学卒業後、県立高等学校教諭となり、教頭・校長を務める。
平成19年10月から13年間、塩谷町教育長を務められ、その間、北関東町村教育長会会長・県町教育長部会会長などを歴任されました。

文部科学大臣表彰 (生涯スポーツ功労者)



小松 範子さん
平成4年にレクリエーション活動団体、平成9年には市レクリエーション協会の設立に尽力。
現在も老若男女問わず楽しめるレクリエーション活動の提供を続けるなど、第一線で活躍されていることが評価されました。

第16回日本スポーツグランプリ



大谷津 節子さん
長年にわたりバレーボールやグラウンド・ゴルフを愛好し、全国大会などでも輝かしい成績を収めるなど「生涯スポーツ実践者の鑑」であると高く評価され、公益財団法人日本スポーツ協会より表彰されました。

全国社会教育委員連合表彰



中嶋 加代子さん
平成13年度から20年に渡り、市社会教育委員および委員長として社会教育の充実発展に尽力。
現在は県社会教育委員協議会の副会長としてもご活躍されています。広く全国規模での社会教育推進への功績が評価されました。

知事表彰 (青少年健全育成功労者)



奥原 初男さん
平成19年度から矢板市子ども会連合会の会長、令和元年度から(一社)栃木県子ども会連合会副会長を務めるなど、子ども会活動を通じて県全体の青少年健全育成へ尽力されていることが評価されました。

感謝 未来を担う子どもたちへ

11月12日(金)、(株)栃木銀行様から学校電子図書館「ともなりライブラリー」用電子書籍コンテンツ(10万円相当)の寄附をいただきました。これは同銀行が扱う、私募債受託に際し受け取る収益の一部を、私募債発行企業の希望先に寄附する寄贈サービス付私募債を活用したものです。今回、発行企業である針生の大進電気工事(株)様が市への寄附を希望されたことにより行われました。

寄附を受け齋藤市長は「子どもたちの読書活動の推進に最大限活用させていただく」と感謝を述べました。



▲(右から)(株)栃木銀行 矢板支店 渡邊 純一 支店長・法人営業部 富川 善守 部長、大進電気工事(株) 菅野 健二 代表取締役、齋藤市長

10/13 (水) マイナンバー出張申請

片岡四区自治公民館で、本市第1号となる行政区へのマイナンバーカード出張申請受付が行われました。これは、当カードの普及を図るため、行政区からの依頼に基づいて市職員が自治公民館などへ出向き、タブレット端末で写真撮影を行い、オンライン申請完了までをサポートするものです。カードは後日、自宅に郵送されるため、市役所に来庁せずに受け取ることができます。申請者は「近くで申請できるので助かる。カードを使ってコンビニで証明書を取得してみたい」と話していました。



▲片岡四区行政区では11人が申請を済ませました。10月末現在、16行政区から出張申請の依頼がありました。

10/16 (土) ミヤコタナゴ増加！

山田地区のため池で、国の天然記念物で絶滅危惧種に指定されている「ミヤコタナゴ」の生息調査が行われました。この調査は毎年行われ、今年はミヤコタナゴ保存会の会員など34人が参加しました。21回目となる今回の生息数は126匹と前回から8匹増加し、平成26年調査時に358匹が確認されて以降、続いていた減少傾向に歯止めがかかる結果となりました。参加者は「来年はもっと増えているように、地域のみんなで見守っていききたい」と話していました。



10/16 (土) 力を合わせて奉仕作業

市役所周辺で、シルバー人材センター会員・創年大学ぶらぶらクラブ・婦人会の有志約90人が参加して、毎年恒例の美化活動が行われました。これは、花火大会や福祉まつりなどの秋のイベントに、きれいな会場で来場者を迎えるために始まった活動です。昨年に続きイベントは中止となりましたが、参加者は今年も草刈り作業などに汗を流しました。活動を終えた参加者は「雨の中の作業で大変だったが、きれいになって気持ちがいい」と話していました。



10/29 (金) 高原山の環境保全に

八方ヶ原周辺で、市教育委員会と市文化財愛護協会が共催で「高原山環境保全パトロール」を初めて行いました。これは、日光国立公園内に位置し、貴重な動植物などの宝庫である高原山の自然を守るために、登山道などの美化活動を行うものです。今回は沢沿いの活動中に、氷河期の遺存種といわれる昆虫「トワダカワゲラ」を偶然見つけるなど、参加者は特別な体験をすることができました。活動を終えた参加者は「高原山を守っていくため、これからも活動していきたい」と話していました。



※入山する際は、ゴミは持ち帰り、植物や岩石などは観察するに留めましょう。

▼トワダカワゲラ

11/1 (月) 各々の作品が主役級

生涯学習館で、「第54回矢板市文化祭」が3日間に渡って開催され、皆さんの日ごろの文芸活動の成果が展示されました。コロナ禍のため、昨年に続き出品数を絞った展示会となりましたが、会場には制作者が丹精込めて作り上げた渾身の作品が並び、訪れた人の目を楽しませていました。来場した方は「全ての作品が繊細につくられ、見れば見るほどその素晴らしさに感心させられる。文化祭が楽しみで、毎年足を運んでいます」と話していました。



11/13 (土) 感謝と思い出を青空に

来年4月に、東小学校へ統合される豊田小学校で、全児童43人と先生・保護者・地域の方が参加して統合記念行事が開催されました。これは、学校を今まで支えてくれた全ての人に感謝を示そうと企画されたもので、参加した方の心に残る思い出になればとさまざまなレクリエーションが催され、最後には全員参加のバルーンリリースを行うなど、会場は終始笑顔であふれていました。6年生は「いい思い出になった。後輩たちには、新しい学校でも仲良く元気に頑張ってもらいたい」と話していました。



※147年の歴史に幕を下す豊田小学校では、これまで3,621人(今年度卒業を含む)の卒業生を輩出しています。

▲マリーゴールドの種が付けられた300個の風船が、澄み切った青空に舞い上がりました。

11/13 (土) 史上初の5連覇達成！

県グリーンスタジアムで、全国高校サッカー選手権大会栃木大会決勝戦が行われ、矢板中央高校が佐野日本大学高校と対戦し、5年連続県勢最多の12度目の全国大会出場を決めました。矢板中央は、序盤から優位に試合を進めるも、試合後半まで佐野日大の堅守に阻まれ無得点に抑え込まれましたが、試合終了間際、相手ゴール前の混戦から決勝点を奪い、全国大会への切符を掴み取りました。高橋監督は「全国では準決勝の壁を破り、今度こそ優勝旗を矢板に持って帰りたい」と意気込みを話してくれました。



▲前全国大会で3位の矢板中央高校は、12月31日(金)に2回戦から出場します。
◀後半38分、相手キーパーがはじいたこぼれ球を、#9FW 藤野 和哉が押し込んで決勝点をあげた。

基本的な感染対策を徹底しましょう！

